

尾道駅仮囲いアートプロジェクト第2弾！「サイクリングで未知の尾道へ」

仮囲いアート「Michi」実施のお知らせ

2018年9月13日
西日本旅客鉄道株式会社
岡山支社

JR西日本岡山支社では、現在推進している尾道駅建替工事の仮囲いにおいて、地域の皆様とともに展開する仮囲いアート「Michi」の第2弾を実施することといたしましたのでお知らせします。

第2弾は、尾道が「世界有数のサイクリングコース：しまなみ海道」の本州側の出発地でもあること、新駅舎に入店する商業施設が「サイクリスト向け」をコンセプトとしていること、10月28日（日）に瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2018」が開催されることなどから、「サイクリングで未知の尾道へ」をテーマに製作し、10月よりアート展開します。第2弾も引き続き、新しい尾道駅の開業まで地域の皆様とともに盛り上げたいと考えております。

1. 「Michi」第2弾について

- ◆テーマ：「サイクリングで未知の尾道へ」
- ◆掲出期間：2018年10月26日（金）～2019年2月頃までを予定
- ◆実施内容：サイクリストやしまなみ街道の風景、サイクリングコース周辺のお店や食べ物などの写真を撮影し、その写真をコラージュしてアートを製作します。写真撮影は、地元尾道のサイクリストチームとカメラマンがタッグを組んで、尾道の魅力発信につなげます。



◆アートイメージ：

2. 協力

◆写真家 竹國 照顕氏

(<http://photolog-creatego.jp/category/teruaki-takekuni/>)

広島県尾道市出身。写真家。広告制作の現場で数多くの経験を重ねる。後に広告制作プロダクション起業に携わり、アートディレクターを担当。広告制作の現場でビジュアル制作の指揮を執る中で「写真」に造詣を深める。尾道にUターン後、2014

年独立。デザインプロダクション「クレアテゴ」を開業。同時にフォトグラファーとしての活動を始め、写真に関するイベントや写真教室などプロデュースしている。尾道と今治を起点に瀬戸内周辺の地域で写真作品を撮り続ける。近年は氏の原点でもある鉄道写真の作品にも力を入れる。Michi 第1弾(2018年2月～8月)に引き続き、第2弾にもご協力頂きました。

◆写真家 竹國 ゆかり氏

(<http://photolog-creatego.jp/category/yukari-takekuni/>)

愛媛県今治市出身。写真家。小さな世界に魅了されて、そこに独自の宇宙観をもって写真作品を切り撮っている。テーマに「刹那」を掲げ、すべてのものに尺度の違う時間があり、それらが時を刻む姿を常に追い求める。また人物撮影において、内面をいきいきと映し出すその作風は素晴らしく、今回の Michi 第2弾ではその躍動感とともに写し出されたサイクリストの姿に注目です。

◆Setouchi PHOTO 写真教室の生徒の皆さん

近藤 新氏(広島県広島市)、伊藤 淳子氏(愛媛県西条市)

◆NAGI BIKE (<https://www.andex.co.jp/nagi/>)

凧スピード・プロジェクト チーフ・プロデューサー 高橋 要一 氏

広島県尾道市出身。自動車用塗装乾燥ブースメーカー、アンデックス株式会社に入社後、インダストリアルデザインやグラフィックデザインを担当。2009年、創業40周年社内ベンチャー起業として「凧スピード・プロジェクト」を立ち上げ、尾道 MADE の自転車作りをスタート。「自転車を核にして地元尾道発のさまざまなものづくりを広くアピールする」のがプロジェクトの目標。尾道から全国へ自ら設計した自転車「NAGI BIKE」と共に飛び回っている。今回の Michi 第2弾では幅広くサイクリストの皆さんにお声掛け頂き撮影の準備をして頂きました。

◆瀬戸内案内舎たびたす (<https://www.tabitasu.net/>)

代表 渡辺 裕樹氏

広島県福山市在住。旅行会社にて国内添乗員を経験。添乗員として全国各地を訪れる中で、あらためて地元瀬戸内の良さに気づき、瀬戸内を自転車やジョギングで走ることで、瀬戸内の素晴らしさ・楽しさを一人でも多くの方に体感してもらえたらと、熱い情熱と共に「瀬戸内案内舎たびたす」を立ち上げた。今回の Michi 第2弾では、交流の深いサイクリストの皆さんにお声掛けいただき、撮影の協力と、氏が今までに撮りためた写真作品から素晴らしいしまなみ海道と自転車の写真を提供して頂きました。